

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもみらいサポートあくしす湊川		
○保護者評価実施期間	R7年1月10日		R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	R7年1月10日		R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域を踏まえ、自立や就労に向け、生活していく上で必要なスキルを身に着けることができるプログラムを立案し実施している。	・アセスメントを取り、日常生活、社会人になる時に困ることが無いようにご本人の状況を踏まえてプログラムを行っています。	・保護者様・学校・就労先への交流を増やし、各方面のニーズを聞いた上でプログラム内容に反映させていきます。
2	・ご本人、保護者との意思疎通を密に行い、個別の課題をご本人と相談して決めて将来を見据えた支援を実施している。	・その日のプログラム内容やご本人の様子を毎日お伝えしています。また、Instagramを通して毎日の療育の様子を発信しています。	・継続して行い、保護者様に安心していただき、お子様ご本人にとっての居場所づくりが出来るよう努めていきます。
3	・お子様主体で決定する機会を設けている。	・おでかけに行く場所やどのような活動時間にするのか、調理実習するメニューを何にするのかなど、お子様たちが相手を思いやりながらも自分の意見を伝え1つの意見にまとめる機会を設けています。	・自分も相手も大切にしながら意見交換ができるよう、言葉の表出方法などのプログラムを充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会、兄弟同士の交流の機会、ご家族に対しての家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や研修会や情報提供。	・ペアレントトレーニングに関しては、家族支援プログラムとしての実施はできていません。送迎時など日々の申し送りの際に、その都度助言やアドバイスを行っています。また、共働きのご家庭が多いので、日程の調整も難しいと判断しています。	・保護者の方向士でつながりを持てるよう保護者会や研修会等のイベントを企画していきます。また、保護者の方が参加できるプログラムなども企画していきます。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の提供。	・事業所内でのプログラムに注力しており、現状としては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。また、交流会など直接的な交流はお子様の特性などを考えると負担になる可能性も高いので、実施の検討はできていません。	・買い物実習や調理実習、おでかけの実施など、地域の中で活動できるプログラムを通して地域のお子様と交流できる機会を設けられるよう工夫していきくと共に、職業体験などを通して地域企業との交流が図れるよう計画していきます。
3	・騒音の関係により、事業所内で運動療育をすることが難しい。	・建物の構造上、室内で運動することが困難です。	・近くの公園や体育館を借りて運動する機会を設けていきます。